

2024 年 5 月 21 日

これまで、これからも。

NEWS RELEASE

Safety &
Value

 **TMES株式会社**

東京都港区芝浦 3-1-21

第 22 回 環境・設備デザイン賞優秀賞受賞のご報告

当社（代表取締役社長 横手敏一）は、「将来を見据えた“みらいの運営維持”設備管理のスマート化」と題した当社ソリューションシステムが、環境・設備デザイン賞の優秀賞に選ばれました。この賞は、「一般社団法人建築設備総合協会」が主催する建築設備分野では一目置かれる賞であり、感性や機能性、経済性、環境問題を視野に入れた社会性の評価軸に基づいて、優れた設備機器や設備システムの事例を表彰しています。

このように、設備管理のスマート化は今後ますます重要となっているトピックであり、DX 化の流れに適応するためにセンシングと IoT を活用することは、建築設備の効率的な運営に貢献します。また、経済性や環境問題にも配慮しながら、設備の持続可能な運用を実現することが求められています。詳細につきまして、下記の通りご報告いたします。

記

1. 環境・設備デザイン賞

主催	一般財団法人 建築設備総合協会 協会ホームページ
目的	環境・設備デザインは、建築設備分野において従来あまり意識されることのなかった審美性などの「感性」に関する要素に焦点をあて、これに「機能性」「経済性」と環境問題も視野に入れた「社会性」を加えた 4 つの評価軸により、総合的かつ客観的な評価が可能と考えます。環境・設備デザインに的確で客観的な評価が広く一般社会に公開され、認知されることが望ましいと考えます。 そのために優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を送り表彰することを趣旨とします。 環境・設備デザイン賞について

2. 受賞概要

表彰種別	優秀賞
テーマ名	将来を見据えた“みらいの運営維持”「設備管理のスマート化」

概 要	世の中のデジタル化の流れのなかで、多くの既設の建築施設を如何にDX化するかが、大きな社会課題となっております。センシングとIoTで運営維持の課題を解決した当社の“みらいの運営維持”の在り方を提案致します。 ～～～みらいの運営維持とは～～～ 設備管理のスマート化を有効活用することで、人手不足に対応し設備管理担当者の負担を軽減できます。さらに、設備異常の予兆を早期に検知することで予知保全が可能となります。このようなスマート化は、みらいの運営維持に必要不可欠です。 「経済性」→日常点検の見直し IoT やセンサーを活用して運営維持の課題を解決 「機能性」→自動読み取り －10℃～400℃で定点監視、1日3回撮影で3年連続動作 特定エリアの温度変化を容易にデジタル化 見える化サービス 「社会性」→IoT 機器・ツールの活用 LiLz Gauge（リルズゲージ） や各種センサーからの情報を T-MET(ティーメット) と呼ばれる DX 技術により API 連携し予知保全システムに繋げるシステム 中央監視のないビルでも最新のシステムと同様なエネルギー分析や計測分析が行える  詳細はコチラ↓↓↓ http://abee.or.jp/designaward/past/22/docs/A-013.pdf
担当・関係者	事業本部 東京第一事業部長 小林正一 営業本部 設計部 ソリューション設計課 筆保朱里 営業本部 設計部副部長 兼) TMES 一級建築士事務所所長 大川幸一 営業本部 TMES 一級建築士事務所 竹倉雅夫 営業本部 商品事業部長 大友猛 営業本部 副本部長 福田清彦
協力会社	LiLz 株式会社 藤井 岳 様

5月17日授賞式にて（会場：建築会館）



（写真左）

一般社団法人建築設備総合協会
環境・設備デザイン賞 実行委員会
委員長 田名網 雅人 様

（写真右手前から）大友、大川

公開二次審査発表



（写真右手前から）

発表者 小林、大友、
LiLz 株式会社 藤井 岳 様

賞状・表彰盾



以上

本件に関するお問い合わせ先

T M E S 株式会社 経営企画部サステナビリティ推進室 笠原、小野間
TEL : 03-4232-2525 E-mail : tmkouhou@tte-net.com